

# ふるさと探訪

## 第61回 大谷池



▲静かに水を湛える大谷池と大正時代のレンガが美しい旧樋門（樋門周辺も整備の予定です）

小松町南川にある大谷池は、大正9（1920）年に完成した、満水面積約10・7ヘクタール、総貯水容量約103万立方メートルの、県内で第3位の大きさを誇るかんがい用のため池です。

平成12年度から19年度にかけて行われた堤体の老朽化等による改修工事に続き、現在は周辺の環境整備が進められています。

この事業は、大谷池周辺を地域の方々の憩いの場として愛着をもっていただくため、地元住民や小中学生の皆さんのご検討やご提案により整備計画が作成されました。

計画では、整備箇所を四季の広場ゾーン・遊ロードゾーン・くつろぎゾーンの3区に分け、それぞれ特徴ある広場として、平成24年3月の完了をめざして整備を進めています。

国道11号からほど近い所に位置するのにも、池の周囲では野鳥のさえずりはもちろんのこと、水面を渡る風の音さえ聞こえてきそうです。

地域の方だけでなく、多くの方が訪れる水辺空間の完成が待たれます。

